

令和8年6月6日
秩父市青少年育成協議会

情報化時代の "いま"を生きる 子どもとの付き合い方

埼玉県家庭教育アドバイザー
池田俊江

1

本日の流れ

- ・PTAと育成会
- ・情報化時代の青少年との付き合い方～栃木の事件を考える～
ーグループトーク1
- ・50年前、30年前、今、の子どもを取り巻く世界
ーグループトーク2
- ・部活動の地域移行について
- ・わたしたち大人にできることは何か
ーグループトーク3
- ・まとめ

2

PTAと育成会



3

PTA parent-Teacher Association

学校に通う子どもたちの健全な成長を図ることを目的として、
保護者と教職員によって組織される任意の団体

【目的】

- ・家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを育む
- ・会員（その学校に在籍する児童生徒の保護者）相互の学びあいの場

【活動】

- ・登下校の見守り・防犯パトロールなどの安全支援
- ・運動会や卒業式など、学校行事のサポート
- ・学校の美化作業や広報誌の発行
- ・保護者向け講演会や学習会の実施

4

育成会 青少年育成協議会

地域の大人が力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を支えるために組織されたボランティア団体

【目的と活動】

- ・パトロールや声掛けにより、非行防止や安全な環境づくりに貢献する
- ・地域の祭り参加や伝統文化の継承を促し、地域への愛着心を育む
- ・子ども主体のイベントや自然体験などの企画を通して協調性や社会性を育む
- ・子ども会のサポートを行う
- ・保護者・地域役員・民生児童委員などが一体となって子どもの健全な成長を見守る

5

情報化時代の 青少年との付き合い方を考える



6

栃木県の事件、その概要

- ・住宅に4人の男性が押し入り、女性一人を殺害、男性二人にけがを負わせる。
- ・実行役は16歳の高校生4人。指示役として20代の夫婦が逮捕される。さらに40代男も逮捕されている。
- ・警察は、匿名・りゅうどう型犯罪グループ（トクリュウ）が関与しているとみている。

※トクリュウ・・・中核人物は身元を隠したまま、「闇バイト」やSNSで集められた実行役に指示し、使い捨てのように扱う。

指示役と実行役が直接対面せず犯罪ごとにメンバーが入れ替わる

7

グループトーク1 栃木の事件を考える

- ・闇バイトの誘い
- ・16歳の高校生4人はなぜ誘いに乗ったか
- ・凶行に及ぶときに何を考えたか
- ・高校生の身近にいる大人はなぜ気づかなかったのか

発表

8

時代の変化から 子どもをみつめる

9

子どもを取り巻く世界（50年前）



- 遊びの中心は外遊び
- 地域の子どもたちが広場に集まり、年代を超えてボールや縄跳びなど。その中で社会性が育まれた。
- 人形遊びや漫画、テレビなど。
- 家の手伝いや兄弟姉妹の面倒を見るなど、家族の一員としての役割も果たした。
- 近所の駄菓子屋は交流の場

10

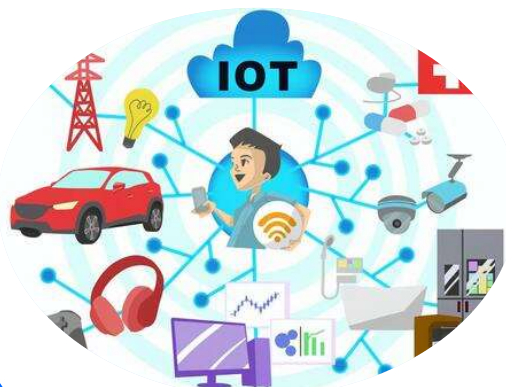
子どもを取り巻く世界（20年前）



- 携帯ゲーム機やパソコンの出現
- まだまだ外遊びも盛ん。校庭にはボール遊びをする子と、木陰に集まりゲームをする子がいた。
- テレビアニメやゲームのキャラクターが人気。
- 中高生にはPHSやガラケーが普及し始める。
- 女子中高生や小学生がファッションに敏感になる

11

子どもを取り巻く世界（現在）



- デジタル化が進み情報社会となる
- 核家族化
- 価値観の多様化
- 教育格差
- 体験格差
- 地域とのつながりの希薄化
- ヤングケアラー問題
- 引きこもりと不登校問題

12

姿が見えにくい 子どもたち

なぜ見えにくいのか？そのわけは？

13

グループトーク2 デジタル時代の子ども

- ・時代の移り変わりで見えてくる“いま”の子ども
- ・子どもにとってのデジタル社会には
どのような問題点があると思うか
- ・インターネットとのかかわりでは
どのようなことに注意すべきか
- ・巨人阿部監督の事件

発表

14

部活動の地域移行 について考える

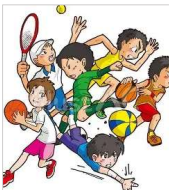
教育研究所でお話を聞きました

15

部活動の地域展開に向けて

- ・今年の1 2月で土日の部活動は終了、ただし平日の部活動は今まで通り。
- ・埼玉県では令和1 3年度までの見通しは立っていない、たぶん現状のまま。
- ・現在、部活動は任意加入。クラブチームなどへの加入は自由。
- ・地域での新しいスポーツクラブの立ち上げは好ましい。
- ・部活動をやらずに早く帰宅する生徒の動静を心配している。

地域での見守りをお願いしたい。



16

グループトーク3 部活動の地域展開

- ・年代を超えて共に活動する利点
- ・送迎の問題
- ・かかる費用の問題
- ・保険は？

発表

17

まとめ・・・にはならないかもしれませんが

- ・子どもは国の宝、という考え
- ・見通せない世界情勢
- ・子どもが安心して夢を見られる世界
- ・どのような支援ができるか

18

ありがとう ございました

埼玉県家庭教育アドバイザー
埼玉県家庭学習アドバイザー
埼玉県ネットアドバイザー
ちちぶ子育て応援団

19



秩父子育て応援団2026年度総会

講演会のご案内

「子どもの権利条約ってなに？」
～ユニセフと世界の子どもたち～

講師 金子千春さん
公益財団法人日本ユニセフ協会
協定地域組織
埼玉県ユニセフ協会



秩父子育て応援団

お知らせ

日時：2026年6月13日（土）

総会 14時15分～ ※団員及び入団希望者
講演会 15時～16時半 ※どなたでも

会場：秩父宮市民会館けやきフォーラムAB
申込み・問い合わせはこちらへ：



20

ファシリテーター養成講座のご案内

・秩父子育て応援団では、青少年メディア研究協会の下田太一氏を指導者に迎え家庭教育とインターネット教育を考える勉強会を予定しています。

ー昨年も5回シリーズで行いました。要綱が整いましたら、秩父子育て応援団のホームページにてご案内いたしますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

※秩父子育て応援団HP <https://chichibu-kosodate.net>